

授業計画書(シラバス)

教科名	キルンワークⅡ	曜日 時間	木、金: 9:10～15:50	担当教員名	准教授 松藤孝一
-----	---------	----------	--------------------	-------	-------------

	前期指導演			後期指導演	
(年間 2 6 回) 授業日	4月	15 16 22 23		10月	/
	5月	6 7 13 20 21 27 28		11月	/
	6月	3 4 10 11 24 25		12月	/
	7月	1 2 8 9 15 16		1月	/
	9月	2 3 9		2月	/
方授 法業	(講義 ・ 実技)			(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	<p>以下の課題を通して授業を進めていく。 課題-キルンワーク:ガラス表現の探求 この課題は、ガラス表現の研究である。1年次に発見した素材や技法からスタートすることも可能で、学生が様々な角度から素材や技法を見つめ直し、研究に取り組む。また、素材や技法ベースで始める必要もなく、コンセプトをどうにかたちで素材に転化できるのかも重要なアプローチとして研究する。 視覚的に手を動かすだけではなく、思考的な要素も研究の対象に含む。 名古屋芸大での連携講評会、そして、最終的に前期の全体講評会で完成度のある作品を発表する。</p>			/	
到達 目標	<p>この授業では、学生が研究題目を教員と相談しながら決め、その研究に合わせた目標値を設定して行う。</p>			/	
成績 基準 評価	<p>成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／課題の完成度／個人の成長度／出席状況</p>			/	
留意 事項	<p>作品制作に先立つアイデアスケッチや研究で収集した資料など全て作品制作と同様に指導する。常に自分のテーブルとその周りを責任もって管理し、石膏室やワックス室等を使用した後はきちんと清掃を行わせる。</p>			/	